



松蔭 校長室だより

—校長から保護者の皆様へのメッセージです—

2022年 5月 7日 発行

松蔭中学校・松蔭高等学校

校長 浅井宣光

イエスはたとえを話された。(中略)「だれも新しいぶどう酒を古い革袋に入れたりほしくない。そんなことをすれば、新しいぶどう酒は革袋を破って流れ出し、革袋もだめになる。新しいぶどう酒は新しい革袋に入れねばならない。また古いぶどう酒を飲めば、だれも新しいものを欲しがらない。古いものの方がよい、と言うのである。」 (ルカによる福音書 5:37~39)

AI (人工知能) 時代に

プロバスケットボールBリーグの試合を「生」観戦する機会がありました。最終の第4Q(クォーター)も同点で競り合い、審判のファウル(反則)のホイッスル(笛)が鳴るたびに、選手やヘッドコーチが「納得できない」という表情を見せ、時には相手選手やヘッドコーチにも激しい抗議を繰り返していました。バスケットボールは「コンタクト(競技者の接触)スポーツ」と呼ばれ、サッカーとともに、審判が下す「接触」判定の適否が大騒動になることが少なくありません。プロ野球でも、審判の判定をめぐる「場内乱闘」やら「退場騒ぎ」の場面がテレビで放映されることがあります。最近のプロスポーツの世界では、最新のIoT(Internet of Things)技術で撮影した映像データをAI(人工知能)が判定したり、CG(コンピュータ・グラフィックス)化して判定を確認したりして精度を高めているそうです。サッカーでは「VAR(ビデオアシスタントレフェリー)」、ラグビーは「TMO(テレビジョンマッチオフィシャル)」、プロテニスや米国NBAでは「チャレンジ」と呼ばれています。GWに「阪神・巨人戦」のテレビ中継を見ていると、「自由視点映像」という画面が映し出されていました。「ポリュメトリックビデオ」という技術で、数十台のカメラが撮影する映像が瞬時に3Dに再構成されるそうです。グラウンド内、しかもフェアグラウンドに自分が立っているかのような映像に驚きました。

「平成30年版 情報通信白書」(総務省HP)は、AIを利用する機械の出現が、職種別就労人口に与える影響について言及しています。2013年、英国オックスフォード大学のマイケル・オズボーン准教授(当時)とカール・フレイ博士が発表した試算によれば、「米国において10~20年以内に労働人口の47%が機械に代替可能」であり、「日本については、野村総合研究所が日本の労働人口の約49%が就いている職業において、機械に代替可能との試算結果を得ている」というのです。さらに「AIの導入が進んだ結果、機械化可能性の高い職業に就く人が減る一方で、AI(人工知能)を導入・運用する職業や、AIの登場により新しく生まれる職業などに就く人が増加すると考えられる」と述べています。オズボーン准教授は人工知能の研究者ですが、今後「消える可能性が最も高い仕事」として、銀行の各種担当職員、機器オペレーター、裁縫師、電話販売員、データ入力作業員などに加えて「スポーツの審判員」を挙げています。プロスポーツに「AI審判」が登場する日は近い未来のことでしょうか。

先月末、本校でもAIについて学ぶ機会を持つため、AI研究の専門家、関西大学総合情報学部の林勲教授をお招きする特別授業を実施し、高2、高3生17名が受講しました。車の自動運転の仕組みやAI研究の最先端について、さらには卓球ロボットの話まで、生徒たちは大変興味深そうに聴き入っていました。学校のICT環境の整備もすすみ、本校でも一人一台のデバイス、クラウド上のアカウント、通信環境のいわゆる「ICT三種の神器」が整いました。学びのスタイルは、ICTやAIを利用する「学びの個別最適化」へと舵が切られています。「オンライン英会話」は、ネットでつながるマンツーマンの講師が個人家庭教師のように自分の英会話力に合わせて話してくれますから、「個別最適化」の「はしり」でしょうか。本校では7年前から一部クラスの授業で実施していましたが、現在、各学年で本格的に実施しています。今年度の中学3年生DSでは、5教科対応のAI型タブレット教材「Qubend」(キュービナ)を試験的に導入しています。AIが学力到達度に合わせて出題したり、間違えた場合は再出題したりして弱点を補い、学習する内容や進度を生徒一人ひとりにアレンジできるので「適応型学習(アダプティブラーニング)」と呼ばれてい

ます。中学全学年では、英語学習アプリ“English Central”を利用しています。難易度別に英語動画を視聴し、AIによるレベル別のスピーキング学習が可能です。データに残る学習履歴は学習効率を向上させ、生徒全体の「教育ビッグデータ」として進路・受験指導への活用も可能でしょう。物心ついた頃から、片手にスマホを持つ大人の姿を間近で見て育ったこれからの中高生は、真の「デジタルネイティブ」世代と言えましょう。AI時代の恩恵を享受する資質が十分に備わります。

聖書にはイエスが語った様々なたとえ話が記されていますが、冒頭の聖句は「新しいぶどう酒は新しい皮袋に」として知られる一節です。新しい物事を現実に役立つものとするためには、古いものはいったん捨てなければならないということですが、学校も世の中も、新しいものを活かすため、新しい「枠組み」作りや環境整備に取り組んでいます。その一方で、聖句の最後の一文は、重要な示唆を与えてくれているようにも思います。

「古いぶどう酒を飲めば、だれも新しいものを欲しがらない。『古いものの方がよい』と言うのである。」
新しくフレッシュなワインも、濃厚で深みがある年代物のワインもそれぞれに味わいがあります。新しいものと古いものの両方の価値と意味をいつも考えながら、AIに「吞まれ」ないよう賢く利用したいものです。

全校生徒の写真撮影

創立130周年記念冊子に掲載するため、全校生徒写真を撮影しました（右の写真）。10年前の120周年では夏服姿で撮影しました（右下写真）。90年程前の昭和初期に撮影した冬服姿の写真も見てみましょう（下の写真）。校歌には「摩耶六甲の山並み」「窓辺に近き松の森」と歌詞がありますが、今も昔も変わりなく、校内の生徒たちを静かに包み込んでいます。9月17日（土）午後、三宮の神戸国際会館で、創立130周年記念式典と祝賀音楽会を開催します。保護者の皆様にもご案内を差し上げる予定です。



<2022年4月撮影>



<1933（昭和8）年頃撮影>



<2012年5月撮影>

5月の行事予定

校内での主な行事の予定です。生徒が参加する行事の詳細は、各学年からの連絡でご確認ください。

5月9日（月）PTA 高校学年委員会（PTA 役員のみ）

5月11日（水）PTA 中学学年委員会（PTA 役員のみ）

5月12日（木）13日（金）検尿

5月16日（月）高校授業④校時まで 夏服へ衣替え

5月17日（火）高校中間考査(20日まで。高1のみ21日まで) 中学授業③校時まで 教職員救急救命措置講習会

5月18日（水）中学中間考査（20日まで）

5月23日（月）お誕生日礼拝 教育実習生受け入れ（6月11日まで）

5月25日（水）中学GS校外学習